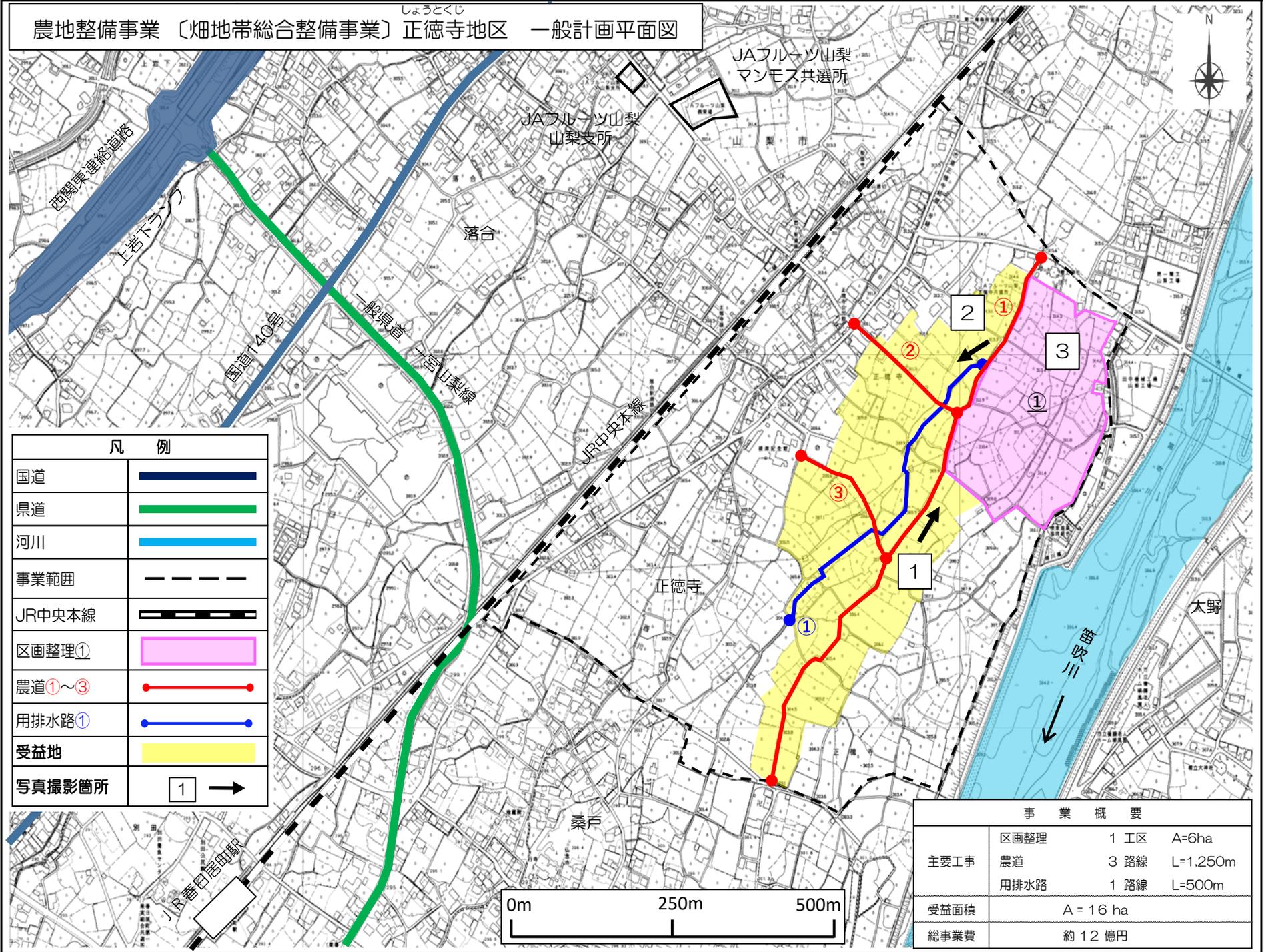
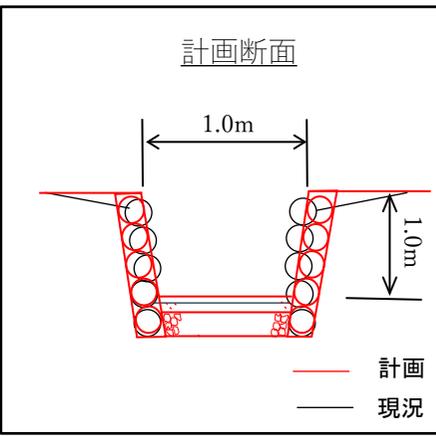
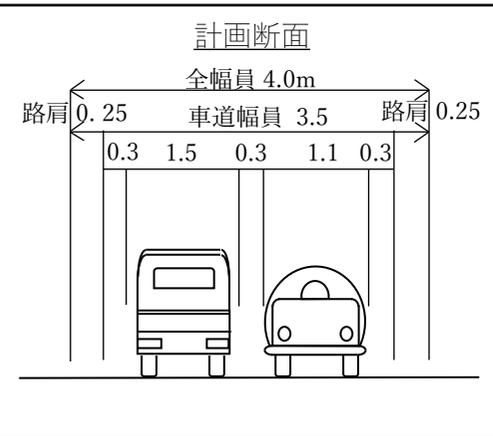
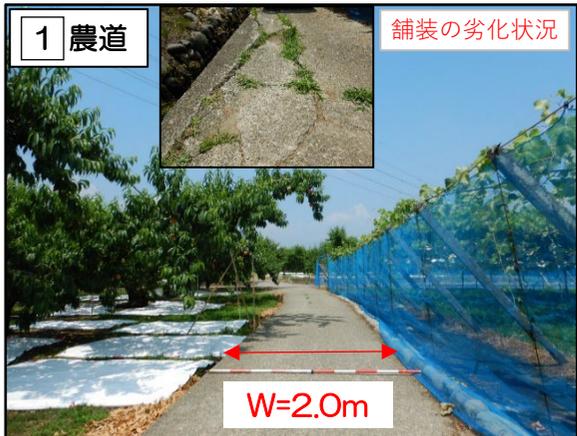


1. 事業説明シート

事業名	農地整備事業 〔畑地帯総合整備事業 (国補) 〕	事業箇所	山梨市正徳寺	地区名	しょうとくじ 正徳寺	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																										
<p>①課題・背景</p> <p>本地区は山梨市南部の平坦地に位置し、もも、ぶどうの生産を中心に営んでいる県内でも有数の果樹地帯である。地区内では県オリジナル品種であるももの夢桃香、近年人気の高いぶどうのシャインマスカットなど高品質で収益性の高い農産物が生産されている。</p> <p>しかしながら、地区内の農道は幅員が狭いため、走行性が悪く果樹の輸送等に支障をきたしている。また、区画が狭く不整形のため、人力作業が中心の営農を行っており営農条件の改善が必要となっている。</p> <p>一方、地区内で規模拡大を希望する担い手農業者もおり、本地域の農業を将来的に維持発展させる上では、営農条件の改善と農地の集約化を進めることが重要となっている。</p> <p>このため、総合的な農業生産基盤の整備により、農作業の効率化による生産性の向上と担い手農業者への農地集積を進め、更なる果樹産地の強化に取り組むものである。</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>本事業は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料安全保障の確保、景観保全や土壌流出防止などの多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきものである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>本事業は、農業生産基盤を総合的に整備して農作業の効率化や農業経営の安定化を図るものであり「土地改良法施行令」第50条第1項第11号に規定される県が主体となって行うべき事業である。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,200 百万円</td> <td>工期</td> <td>R8 ~ R15</td> <td>基準年</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>940 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1,215 百万円</td> </tr> <tr> <td>当該事業費</td> <td>869 百万円</td> <td>走行経費節減効果</td> <td colspan="2">604 百万円</td> </tr> <tr> <td>関連事業費等</td> <td>71 百万円</td> <td>作物生産効果</td> <td colspan="2">337 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>品質向上効果</td> <td colspan="2">92 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">182 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td>1.3</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>※その他は、営農経費節減効果、国産農産物安定供給効果、維持管理費節減効果 費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効果性は確保されている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地区内の営農条件改善に必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>区画整理や農道整備等を進めることで、農地の集積・集約化が図られるとともに、作業効率や営農条件が改善され、今後の果樹産地の強化や担い手農業者への農地集積を図るために最も適した計画としている。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>峡東区域の扇状地に適応した果樹農業は、世界農業遺産 (R4.7) に認定されており、優れた農村景観や自然環境を維持し、未来に継承するために必要な対策を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>事業の円滑な推進のため、関係市は事業計画にあたり耕作者を対象とした説明会を実施しており、整備を希望し、合意された施設を整備対象としている。</p> <p>また、地区内の代表者で構成する「正徳寺地区県営畑地帯総合整備事業推進協議会」が設立されるなど、地元の理解度は高く、事業を推進する体制も整っている。</p>				総事業費	1,200 百万円	工期	R8 ~ R15	基準年	R7	経済効率性	費用	940 百万円	便益	1,215 百万円		当該事業費	869 百万円	走行経費節減効果	604 百万円		関連事業費等	71 百万円	作物生産効果	337 百万円				品質向上効果	92 百万円					その他※	182 百万円			B/C	1.3			
総事業費	1,200 百万円	工期	R8 ~ R15	基準年	R7																																									
経済効率性	費用	940 百万円	便益	1,215 百万円																																										
	当該事業費	869 百万円	走行経費節減効果	604 百万円																																										
	関連事業費等	71 百万円	作物生産効果	337 百万円																																										
			品質向上効果	92 百万円																																										
			その他※	182 百万円																																										
	B/C	1.3																																												
(2) 整備内容				総合評価 [貢献度ランク : a]																																										
<p>①整備内容 区画整理 A=6ha、農道 L=1,250m、用排水路 L=500m</p> <p>②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和15年度</p> <p>④総事業費 約1,200百万円 (国費600百万円(5.0/10)、県費300百万円(2.5/10)、市費等300百万円(2.5/10))</p>																																														
<p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>令和8年度</td> <td>測量・設計・換地</td> <td>50 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>区画整理、農道、用排水路</td> <td>180 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>区画整理、農道、用排水路</td> <td>180 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>区画整理、農道、用排水路</td> <td>180 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>区画整理、農道、用排水路</td> <td>180 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和13年度</td> <td>区画整理、農道、用排水路</td> <td>180 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和14年度</td> <td>区画整理、農道、用排水路</td> <td>150 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和15年度</td> <td>区画整理・換地</td> <td>100 百万円</td> </tr> </table>				令和8年度	測量・設計・換地	50 百万円	令和9年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円	令和10年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円	令和11年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円	令和12年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円	令和13年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円	令和14年度	区画整理、農道、用排水路	150 百万円	令和15年度	区画整理・換地	100 百万円																			
令和8年度	測量・設計・換地	50 百万円																																												
令和9年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円																																												
令和10年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円																																												
令和11年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円																																												
令和12年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円																																												
令和13年度	区画整理、農道、用排水路	180 百万円																																												
令和14年度	区画整理、農道、用排水路	150 百万円																																												
令和15年度	区画整理・換地	100 百万円																																												
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>																																														
<p>⑥既整備内容・期間・事業費 該当なし</p>				<p>(4) 事業位置図等</p>  <p style="text-align: right;">地理院地図 (国土地理院) を加工して作成</p>																																										

2. 添付資料シート (1)





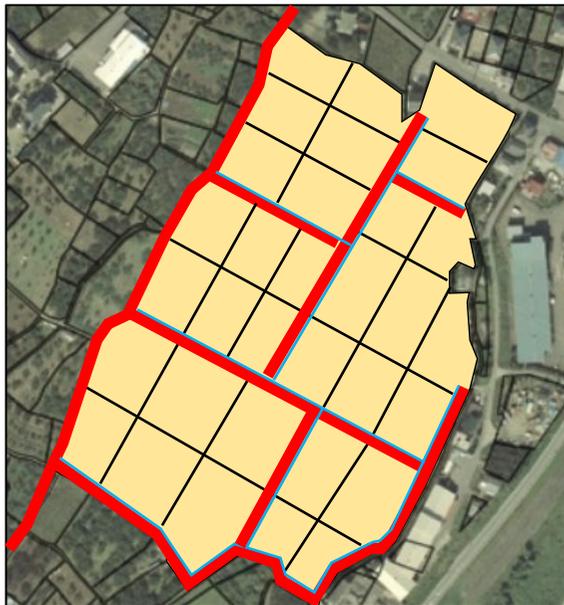
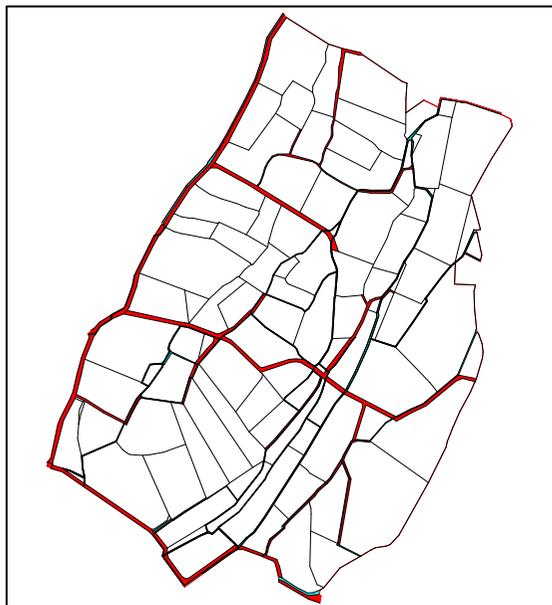
地区内の農道は道幅が狭く、農作業車両のすれ違いが困難である。また、既設の道路は簡易的な舗装で路面が痛んでいるため、運搬時には荷傷みが生じている。

地区内の水路は未整備のため、排水不良や漏水による湿害が発生するとともに、維持管理に多大な労力を要している。

3 区画整理

現況

整備後の区画イメージ



(工区面積) A=5.4ha
筆数：100筆 平均面積 540㎡/筆

(工区面積) A=5.4ha
筆数：32筆 平均面積 1,688㎡/筆

区画整理により狭小で不整形な農地の区画の拡大を図ることで、農作業の効率化や担い手農業者への農地集積を進める。



地区内では県オリジナル品種であるももの夢桃果や消費者から人気の高い、ぶどうのシャインマスカットが栽培されており、収穫されたももやぶどうは近隣の共選所に出荷されている。